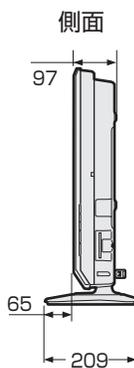
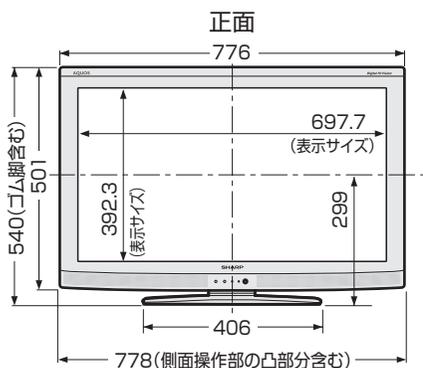
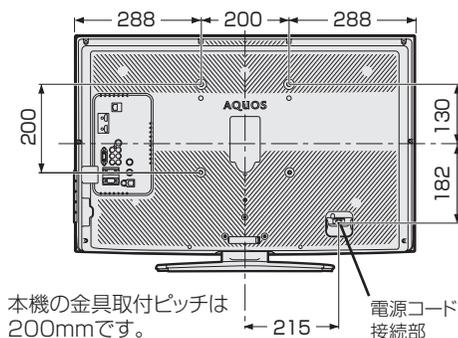
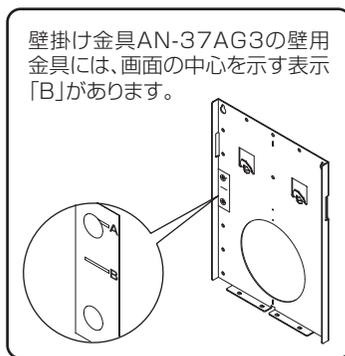
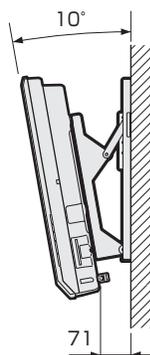
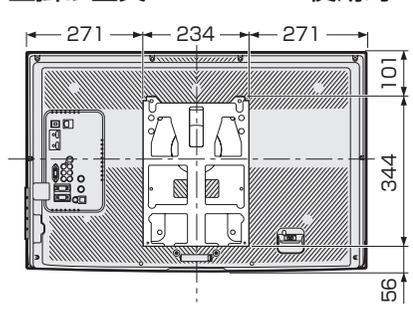
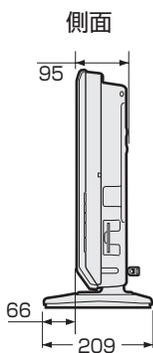
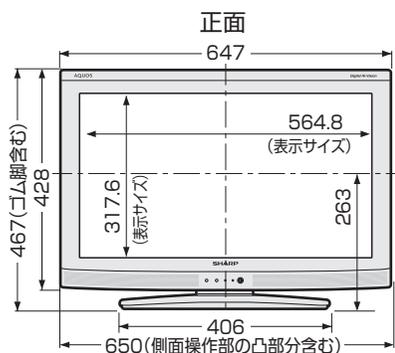
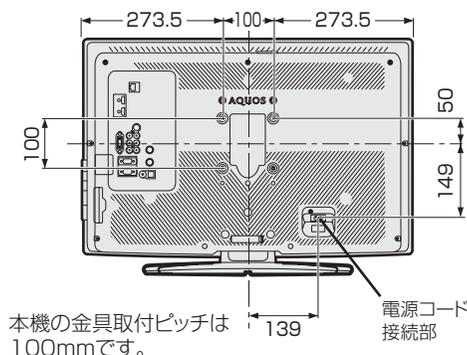
寸法図／壁掛け金具取り付け時の寸法

LC-32E7

（単位：mm）

正面

側面

壁掛け金具取り付け時の寸法

本機の金具取付ピッチは200mmです。

壁掛け金具AN-37AG3使用時

壁掛け金具AN-37AG3の壁用金具には、画面の中心を示す表示「B」があります。

LC-26E7

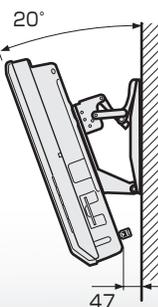
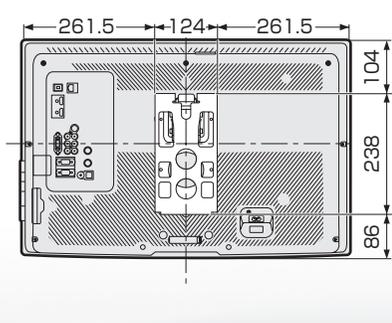
正面

側面

壁掛け金具取り付け時の寸法

本機の金具取付ピッチは100mmです。

壁掛け金具AN-130AG1使用時

壁掛け金具AN-130AG1の壁用金具には、ディスプレイの中心を示す表示「D」があります。

壁に掛けて設置する

スタンドをはずす

● 別売の壁掛け金具（AN-37AG3/AN-130AG1）で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。（壁掛け設置のしかた（例）▶ **171** ページ）

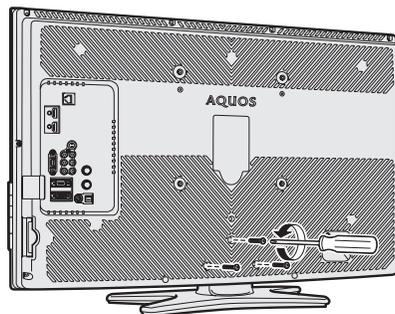
重 要

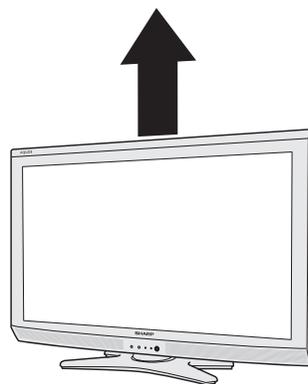
- 取付方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。
  当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

準備する

- 接続しているケーブルは、接続先をすべてはずしておきます。
- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

1 スタンドを固定しているネジ（3 箇所）を取りはずす

- プラスドライバー（市販品）を使います。

2 壁掛け金具を取り付ける

3 ディスプレイ部分を持ち上げて取りはずす

- 液晶パネルに強い力がかからないように持ち上げてください。
- LC-32E7 の場合は大きく重いため、必ず 2 人以上で持ち上げてください。
- 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置します。

壁掛け設置のしかた（例）

● 本機を別売の壁掛け金具（AN-37AG3/AN-130AG1）を使って壁掛け設置して使用することができます。スタンドを取り付けている場合は、必ず付属のスタンドをはずしてください。（スタンドをはずす ▶ 170 ページ）

おしらせ

- 壁掛け金具 AN-37AG3 を取り付ける場合は、AN-37AG3 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ12mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-130AG1 を取り付ける場合は、AN-130AG1 に付属のテレビ取付用ねじ（M4、長さ10mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-37AG3、AN-130AG1 の壁用金具を壁に取り付ける場合は、市販のねじ（径 6mm）をご使用ください。

1 **液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅となる位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける**

- 水平・垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
- テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

2 **4 箇所の目印から対角線を引き、その交点（テレビの中心となる位置）に目印を付ける**

- 糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。

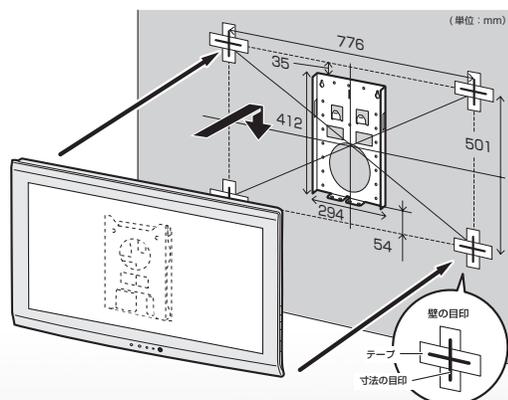
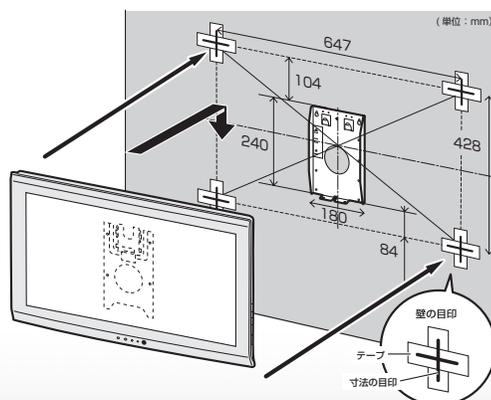
3 **この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける**

- 下記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

4 **①スタンドをはずす（▶ 170 ページ）**
②壁掛け金具ユニットを液晶テレビに取り付ける
③角度調整する場合は、テレビを壁に掛ける前に行う
④壁に掛ける

- 壁面の寸法の目印（テレビの四隅）を目安にして取り付けます。
- 取付け角度を変更するときは、必ず液晶テレビを壁から取り外してください。

5 **目印のテープ類を取り除く**

壁掛け金具 AN-37AG3 使用時

壁掛け金具 AN-130AG1 使用時

上記の方法はあくまで参考です。設置環境に合った方法で取付設置を行ってください。

用語の解説

●110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星(BS)と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星(CS)を利用したデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴するしくみになっています。一部、無料放送もあります。

●720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
720p	走査線 750 本（有効走査線 720本)、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線1125本(有効走査線1080本)、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線525本(有効走査線480本)、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線525本(有効走査線480本)、インターレース方式。地上アナログ放送(VHF/UHF)やBSアナログ放送と同等の画質です。

●16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

●AAC
(Advanced AudioCoding)
デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

●AV
Audio Visual（またはAudio Video)の略で、音響と映像に関する技術や製品の総称です。テレビやビデオデッキ、オーディオプレイヤーなどをAV機器と呼びます。

●B-CASカード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS ／ 110度CS ／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。(B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が映りません。)

●BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された衛星放送で、従来のBS（アナログ)放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。

●CATV(ケーブルテレビ)
ケーブル(有線)テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。本機は「パススルー方式」のCATVに対応しています。

●D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)を3本のケーブルで接続(コンポーネント接続)していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度･色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1 ～ D5の規格があり(本機はD4対応)、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

●EPG(Electronic Program Guide)
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。本機では、電子番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

●HDMI(High Definition Multimedia Interface)
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。高精細な映像入力に対応しています。

●LAN
Local Area Network（ローカル･エリア･ネットワーク)の略で、コンピューター･ネットワークの形式のひとつです。一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

●MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。